

川崎市国際交流センターのイベント・講座案内

■下記「イベント」の申し込み先は川崎市国際交流協会まで(8ページ参照)

イベント

2010 インターナショナル・フェスティバル in カワサキ

2010 INTERNATIONAL FESTIVAL IN KAWASAKI

き み せかい たいけん いちにち
来て見て! 世界を体験する一日!

◎日時: 7月4日(日) 10:00~

◎会場: 川崎市国際交流センター



▲エチオピアダンス

川崎市内の民間レベルの国際交流に取り組んでいる団体等が日頃の活動の成果を発表します。各種イベントの開催を通じて、地球市民として様々な立場の人がふれあいを深め、相互理解と友好親善を促進するために開催するものです。



◎内容(予定):

- ステージ 外国人によるパフォーマンスほか(舞踊、太鼓、ダンス、楽器演奏)
- 展示企画 国際交流民間団体の活動紹介ほか
- 特別展示 イギリス・シェフィールド市友好都市提携20周年
- 交流体験 カポエイラ、フットメザ(ブラジル)、ペタンク(仏)、姉妹都市ウーロンゴンの大学生によるオーストラリア紹介
- 世界の物産 世界の雑貨、手工芸品の販売
- 世界の料理 韓国、インド、ブラジル、ペルーなどの料理、野菜即売市
- フリーマーケット 何がでてるのか、お楽しみ!

オーストラリア・ウーロンゴン大学生▶



第1号「川崎市名誉国際親善大使」就任記念!

コンサート

ライナー・キュッヒル ヴァイオリン・リサイタル

全席指定

オーストリアのウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の第一コンサートマスターを務める、ライナー・キュッヒル氏によるヴァイオリン・リサイタルを開催します。

2010年7月9日(金) 19時開演(18時30分開場)

◎会場: ミューザ川崎シンフォニーホール(JR川崎駅西口から徒歩8分)

出演者 ・ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン)
・加藤洋之(ピアノ)

曲目 ・R.シュトラウス(ブシホタ編):「バラの騎士」よりワルツ
・マスネ: タイスの瞑想曲
・ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ第5番へ長調Op.「春」他

◎主催: ミューザ川崎シンフォニーホール

◎共催: (財)川崎市国際交流協会

◎料金: 5,000円

◎問合せ: ミューザ川崎シンフォニーホール TEL044-520-0200

お知らせ

蔵書点検に伴う図書・資料室休室について

◎休室期間: 平成22年6月22日(火)~平成22年6月25日(金)

コンサート

第16回クロコディロスコンサート

全席自由



「クロコディロス」はアメリカ・ボストンにあるハーバード大学で64年の歴史を持つ男声アカペラコーラスグループです。メンバーは学業の傍ら、春休みや夏休みを利用して世界各地で公演し、音楽の親善大使として広く知られています。現役学生のためメンバーは流動的ですが、アメリカ黄金時代の曲を中心に、振付やユーモアをとり入れた独特のスタイルを貫いてきました。今年のレパートリーにはダニー・ボーイ、ランナウェイ、マイ ガール等があります。(詳細は当日発表)

2010年6月19日(土) 15:00~16:00

◎会場: 川崎市国際交流センター ホール

◎前売り入場券: 一般: 2,000円 大学生: 1,500円
小・中・高校生: 1,000円(当日券はいずれも+500円)

◎定員: 230名(予約制) **先着順**

◎主催: (財)川崎市国際交流協会

◎後援: 「音楽のまち・かわさき」推進協議会

◎申込: (財)川崎市国際交流協会へ電話、FAX、メール、来館(10時~16時)のいずれかでお申し込みください。



~3年間の国際交流員の仕事を振り返って~

離れたくないまち 川崎

川崎市国際交流員: アリアナ・マー
(総務局交流推進課に在籍)

ある晴れた日曜日に、ニヶ領用水に沿って生田緑地まで散歩に出かけました。豊かな森は木陰を作り出し、新鮮で澄んだ空気は、コンクリートに囲まれた外の世界とは比べ物になりません。ここにいると自分が大きな絵画の一部になったような気がします。故岡本太郎も、この生き生きとした色彩を持つまちを誇りに感じたことでしょう。

私はJETプログラム(国際交流の為に、外国の若者に日本に数年暮らす機会を与えるもの)の国際交流員として川崎にきました。私の赴任先が川崎と聞いた時、初めはそれがどうしたことなのか分かりませんでした。3年近く経った今、自分がこのプログラムの中で最もラッキーであったと思っています。

私が川崎を大好きになったことで、仕事もやりがいのあるものになりました。私の主な仕事は、通訳や翻訳、そして海外姉妹都市等とのイベントに向けてのやり取りなどです。この仕事は、

市の魅力についてどれだけ良く知っているかにかかっています。

私はひとつの市に想像もできないほど多くのことが詰まっているのを知りました。例えば日本民家園や岡本太郎の絵画、川崎大師の歴史、市内で行われるお祭りのことなどについて学びました。この知識を市を訪れたお客様に紹介することは何よりも楽しいことです。市に愛着を持っているのは私だけではありません。国際交流センターの催しに参加するといつでも、自分の時間を国際交流のためのボランティアに費やす地域の人々の姿を見ると、私と同じように愛着を持っているのだと嬉しくなります。

しかし、私は幸せで満ち足りた気持ちと同時に悲しみも感じています。ここでの時間を楽しんできましたが、私は市を離れ、新しい人生に向けて旅立つのです。皆さんの親しみのこもった顔やワクワクするイベント、思わず息をのむような景色を決して忘れることはないでしょう。そして旅立つ前に、また生田緑地へ気持ちの良い散歩に出かけたいと思います。

(文・写真: アリアナ・マー、編集: 川崎市総務局交流推進課 平井和美)